

様式1(共通)

省エネ基準工事監理報告書

令和〇〇年△△月××日

確認検査機関〇〇〇様

工事の監理状況を報告します。
この監理報告書及び提出書類に記載の事項は、事実と相違ありません。

工事監理者(一級)建築士(大臣)登録第〇〇〇〇号
資格氏名 建築省太郎
建築士事務所名(一級)建築士事務所(大阪)登録第△△△△号 TEL 06-0000-0000

省エネ基準に関し 建築設備士()登録第 号
意見を聴いた者
の氏名・勤務先名()登録第 号 TEL

概要

建築主氏名	建築省子		
敷地の地名地番	大阪府〇〇市△△町××番□□		
確認年月日・番号	令和 2年 〇月 △日 第 R2〇〇〇〇号	計画変更確認 年月日・番号	年 月 日 第 号
敷地内の判定又は認定の対象となった建築物の棟数	1棟(内:標準入力法 棟、モデル建物法 1棟、その他 棟)		

注) 計画変更の年月日・番号は最新のものを記載すること。

様式MA-1 (モデル) 建築物の概要

建築物の名称	〇〇ホテル新築工事 宿泊棟			
工事種別	<input checked="" type="checkbox"/> 新築	<input type="checkbox"/> 増築	<input type="checkbox"/> 改築	確認申請書第四面 【1. 番号】
判定又は認定の種別及び年月日・番号 <small>※計画変更判定等がある場合は最新の年月日・番号を記載してください。</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 建築物エネルギー消費性能確保計画の判定		平成30年	△月 ×日
	<input type="checkbox"/> 建築物エネルギー性能向上計画の認定		平成	年 月 日
	<input type="checkbox"/> 低炭素建築物新築等計画の認定		平成	年 月 日
軽微な変更 <small>※変更がある場合は、「建築物エネルギー消費性能確保計画に係る軽微な変更説明書」を添付してください。</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> A 省エネ性能が向上する変更 <input type="checkbox"/> B 一定範囲内の省エネ性能が減少する変更 <input checked="" type="checkbox"/> C 再計算によって基準適合が明らかな変更(計画の抜本的な変更を除く)	
判定又は認定の対象となった建築物の構造又は設備等	<input checked="" type="checkbox"/> 外皮		<input checked="" type="checkbox"/> 給湯設備	
	<input checked="" type="checkbox"/> 空気調和設備		<input checked="" type="checkbox"/> 昇降機設備	
	<input type="checkbox"/> 機械換気設備		<input type="checkbox"/> 太陽光発電設備	
	<input checked="" type="checkbox"/> 照明設備		<input type="checkbox"/> その他 ()	
① 省エネルギー基準地域区分*	5			
② 年間日射地域区分**				
③ 延べ面積 [㎡]	申請部分	7004.21	既存部分 増改築の場合	
④ 建築基準法施行規則別記様式に定める用途	記号	08440		
	用途の区分	ホテル		
⑤ モデル建物法で適用する建物モデルの種類*	建物用途	ビジネスホテルモデル		
	室用途 (集会所等の場合のみ)			
⑥ 計算対象部分の床面積 [㎡]*	7004.21			
⑦ 計算対象部分の空調対象床面積 [㎡]**	6548.47			
⑧ 計算対象部分の階数**	地上	11	地下	0
	⑨ 計算対象部分の階高の合計 [m]**			
31.9				
⑩ 計算対象部分の外周長さ [m]**				
108.1				
⑪ 計算対象部分の非空調コア部**	方位	南	長さ[m]	20.5

* はモデル建物法による評価のために必ず記入が必要となる項目
 ** は外皮 (PAL) 及び空気調和設備を評価する際に入力が必要となる項目
 *** は太陽光発電を評価する際のみ必須となる項目

様式MA-2 (モデル) 報告事項の確認結果

項目	報告事項	照合を行った設計図書	確認方法	確認結果
1. 外皮	① 断熱材の仕様、設置状況	矩計図	A・B・C ・施工計画書 ・試験成績書	適・不適
	② 窓の仕様、設置状況 (ブラインドボックス、庇の設置状況を含む)	建具表	A・B・C ・ガラスラベル	適・不適
2. 空調設備	① 熱源機器の仕様、設置状況	系統図 空調平面図	A・B・C ・ ・	適・不適
	② 全熱交換器の仕様、設置状況		A・B・C ・ ・	適・不適
	③ 全熱交換器の自動換気切替機能の設置状況		A・B・C ・ ・	適・不適
	④ 予熱時外気取入れ停止制御の設置状況		A・B・C ・ ・	適・不適
	⑤ 2次ポンプの変流量制御の設置状況		A・B・C ・ ・	適・不適
	⑥ 空調機ファンの変風量制御の設置状況		A・B・C ・ ・	適・不適
3. 換気設備	① 換気設備の仕様、設置状況		A・B・C ・ ・	適・不適
	② 送風量制御の設置状況		A・B・C ・ ・	適・不適
4. 照明設備	① 照明器具の仕様、設置状況	平面図	A・B・C ・ ・	適・不適
	② 各種制御の設置状況 【在室検知制御・タイムスケジュール制御・初期照度補正制御・明るさ検知制御】	機器仕様書	A・B・C ・ ・	適・不適
5. 給湯設備	① 熱源機器の仕様、設置状況	配管平面図 機器表	A・B・C ・ ・	適・不適
	② 給湯配管の保温の仕様、設置状況	配管平面図	A・B・C ・写真	適・不適
	③ 節湯器具の仕様、設置状況		A・B・C ・ ・	適・不適
6. 昇降機設備	昇降機の仕様、設置状況	EV仕様書	A・B・C ・ ・	適・不適
7. 太陽光発電設備	太陽光発電設備の仕様、設置状況		A・B・C ・ ・	適・不適
8. コージェネレーションシステム	コージェネレーションシステムの仕様、設置状況		A・B・C ・ ・	適・不適

- 注)
1. 計算対象となる設備等が無い場合は、当該設備等に係る項目の記載は不要です。
 2. 「照合を行った設計図書」の欄は、建築物省エネ法施行規則第1条第1項に規定する図書等のうち、工事監理で照合を行った図書を記載してください。
 3. 「確認方法」の欄は、A・B・Cのうち、該当するものを○で囲んでください。Cに該当する場合は、確認に用いた具体的な書類を記載してください。

各入力シートの確認結果【モデル建物法】

番号	適判時の対象	適合性判定時入力シート	変更		添付する報告書等	
			有	無	変更「有」の場合の選択	変更「無」の場合の選択
1	✓	様式B-1 開口部仕様入力シート		✓	工事監理報告書 (MB-1)	工事監理報告書 (MB-1)
					適判時シート + 変更後シート	✓ 適判時シート
2	✓	様式B-2 断熱仕様入力シート	✓		✓ 工事監理報告書 (MB-2)	工事監理報告書 (MB-2)
					適判時シート + 変更後シート	適判時シート
3	✓	様式B-3 外皮仕様入力シート		✓	工事監理報告書 (MB-3)	工事監理報告書 (MB-3)
					適判時シート + 変更後シート	✓ 適判時シート
4	✓	様式C-1 空調熱源入力シート	✓		工事監理報告書 (MC-1)	工事監理報告書 (MC-1)
					✓ 適判時シート + 変更後シート	✓ 適判時シート
5		様式C-2 空調外気処理入力シート			工事監理報告書 (MC-2)	工事監理報告書 (MC-2)
					適判時シート + 変更後シート	適判時シート
6		様式C-3 空調二次ポンプ入力シート			工事監理報告書 (MC-3)	工事監理報告書 (MC-3)
					適判時シート + 変更後シート	適判時シート
7		様式C-4 空調送風機入力シート			工事監理報告書 (MC-4)	工事監理報告書 (MC-4)
					適判時シート + 変更後シート	適判時シート
8		様式D 換気入力シート			工事監理報告書 (MD)	工事監理報告書 (MD)
					適判時シート + 変更後シート	適判時シート
9	✓	様式E 照明入力シート	✓		✓ 工事監理報告書 (ME)	工事監理報告書 (ME)
					適判時シート + 変更後シート	適判時シート
10	✓	様式F 給湯入力シート		✓	工事監理報告書 (MF)	✓ 工事監理報告書 (MF)
					適判時シート + 変更後シート	適判時シート
11	✓	様式G 昇降機入力シート		✓	工事監理報告書 (MG)	工事監理報告書 (MG)
					適判時シート + 変更後シート	✓ 適判時シート
12		様式H 太陽光発電入力シート			工事監理報告書 (MH)	工事監理報告書 (MH)
					適判時シート + 変更後シート	適判時シート
13		様式I コージェネレーション設備入力シート			工事監理報告書 (MI)	工事監理報告書 (MI)
					適判時シート + 変更後シート	適判時シート

注)

- 「適判時の対象」欄は、それぞれ適合性判定時に評価しているシートを選択してください。
- 「変更」欄は、適合性判定時の入力シートの内容について、変更の有無の状況を選択してください。
- 「添付する報告書等」欄の、【適判時シート】とは「適合性判定時の入力シートの写し」を【変更後シート】とは「変更内容を反映した入力シートの写し」を示します。
- 「添付する報告書等」欄は、変更の有無の区分に応じて、それぞれ添付する報告書様式や入力シートの写し等の種別を選択してください。なお、添付する報告書等は、本様式の後ろに番号1から順に添えてください。また、変更がある場合で「適判時シート+ 変更後シート」を選択した場合、それぞれの資料の区別が分るように添えてください。
- 工事施工時の設備機器の追加で、適合性判定時に評価していなかった入力シートについて評価が追加になった場合、また逆に、適合性判定時に評価していた入力シートについて、変更により設備機器の設置がなくなった場合の上表の記載方法は、別の『省エネ基準工事監理報告書作成上の留意点』をご参照ください。

